

# きららだより

平成30年  
4月号

## 4月の予定

1	日	
2	月	入園進級式
3	火	
4	水	
5	木	運動
6	金	
7	土	きらら研修会
8	日	
9	月	YY
10	火	音楽
11	水	茶道・リズム
12	木	EE
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	YY
17	火	きららっこ①(地域)・音楽
18	水	リズム
19	木	EE
20	金	☆4月生誕生会
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	音楽 おとのゆうえんち(地域)
25	水	茶道・リズム
26	木	EE・運動
27	金	お弁当の日
28	土	
29	日	昭和の日
30	月	振替休日

## ご入園、ご進級おめでとうございます。

暖かい日射しが気持ちの良い春を迎えました。子どもたちの植えたチューリップが咲き、色とりどりの花を咲かせてくれました。

さて、今年は22名の新入園児を迎え、新しい年度が始まりました。クラスの保育士やメンバーも変わり、新入園の子だけでなく、在園児の子たちも含めしばらくの間は「ママー！ママがいい！」ときっと泣いてしまう声が聞こえると思います。子どもにとって初めての過酷な経験。でも、私たちは毎年、その子どもたちが生き生きと保育園で過ごす姿に出会います。後ろ髪をひかれながらお仕事に行くのは辛いことです。でも、子どもを預けて仕事をしていこうと決めたのですから、子どもの力を信じて、そして私たちが信頼してお出かけください。笑顔で過ごせる日はもうすぐです。絶対乗り越えられますから見守ってあげてください。泣き始めてもできるだけ早く子どもから離れてあげましょう。「行ってくるからね。迎えに来るからね。」という声掛けは忘れずに。遊んでいるからとそっと出かけてしまうと子どもの信頼を失ってしまいます。

今日から職員も新体制になりましたが、今年も子どもたち一人ひとりの育ちにそった援助をさせていただきたいと思っております。きらら保育園が安心して過ごせる場所となるように、より環境を整えて努めていきます。心配なこと、不安なことなどがありましたら、その都度お声掛けください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 異動・退職の職員 お世話になりました。

【退職】保育士

【異動】保育補助 (保育士としてきらら子どもの家へ)

【異動】保育士 (きらら子どもの家よりきらら保育園へ)

## 新入の職員 よろしくお願ひ致します。

保育士

保育士

## 歯科健康診断について～年2回になります～

横浜市の認可保育園では、園児の歯科健康診断を園で年2回行うことになりました。本園でも今年度より年2回行うこととなりましたのでご承知おき下さい。“虫歯は自然治癒がない為、予防について正しい知識の普及と指導の徹底を図ることが、乳幼児の健やかな発育成長のために重要である。(児童福祉施設最低基準より)”との位置付けからです。

## 登園許可証明書(医師記入) 感染症病状確認書(保護者記入) が変わります

A4サイズの用紙に変更となりました。登園許可証明書(医師記入)はピンク色、感染症病状確認書(保護者記入)は水色です。用紙はきらら保育園のホームページからもダウンロード可能です。その際は、白い普通用紙に印刷して構いませんので、病後に登園する際は必ずお持ちください。

登園許可書・・・麻疹(はしか)・インフルエンザ・風疹・水痘(水ぼうそう)・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)・結核・咽頭結膜炎(プール熱)・流行性角結膜炎・百日咳・腸管出血性大腸菌感染症(0-157/0-26/0-111)

感染症病状確認書・・・溶連菌感染症・マイコプラズマ肺炎・手足口病・りんご病・感染性胃腸炎(ノロ・ロタ・アデノウイルス等)・ヘルパンギーナ・RSウイルス・帯状疱疹(ヘルペス)・突発性発疹

## 5月の主な予定

3日(木・祝) 憲法記念日  
4日(金・祝) みどりの日  
5日(土・祝) こどもの日  
12日(土) 親子遠足(お弁当)  
13日(日) 母の日  
15日(火) きららっこ②(地域)  
16日(水) 内科健診  
18日(金) 5月生誕生会  
22日(火) おとのゆうえんち(地域)  
29日(火) きらら探検隊①(地域)  
その他避難訓練・身体測定

## モンテッソーリからの提案～子どものやる気を削がないためにできる大人の態度～

聖アンナこども家というモンテッソーリ教育の教師養成センター付属の幼稚園の園長であり、国際モンテッソーリ協会(AMI)公認国際トレーナーでいらっしゃいます。先生が、育児雑誌クーンで記事を掲載されていたのでご紹介致します。

先生は、1970年代よりイタリアとアメリカでモンテッソーリ教育法を学び資格を取得され、日本で初めて教師養成トレーナーとして国際的に認定されたパイオニアの方です。御年 90 歳に近付く現在でも、モンテッソーリ教育を実践し続け、教師を育てていらっしゃいます。

### 子どもの意欲を削いでいませんか？

毎日の生活の中で、子どもが「これやりたい」、「手伝いたい」と言う場面は多々あります。でも、大人の何気ないことばがその意欲を削いでしまうことは少なくありません。例えば、「まだ早いわよ」とか「今忙しいから今度ね」といった言葉。大人の「面倒くさい」という気持ちが先立つと、つい言ってしまうがちですが、これらは結果的に、子どもを拒否していることになるのです。ですから、気持ちに余裕がない時は、深呼吸してまずひと息ついてから、子どもにどうしてもらうべきか、何と言って伝えるのが一番良いのかを考えましょう。

### 子どもに合わせたゆっくりとしたペースで

子どもがやったことに対しては、決してケチをつけないこと。「だからできないって言ったでしょう」とか「失敗すると思ったのよ」と、思いがち、言いがちなですけど、そこはこらえましょう。慣れてきたら子どもの方でも、失敗から学べるようになります。間違っても怒鳴ったり、感情的に怒るのはやめて下さい。頭ごなしに叱られると、「お手伝いしてあげたいな」という優しい気持ちや、失敗の原因について考えるより、怒鳴られたことの方がずっと子どもの心に残ってしまうんです。それを繰り返すと、自分はあれもできなかった、何度も失敗した、と自分への信頼を失っていきます。さらに相手に対しても「自分はできない人間だと思われてるんだ」と思い違いをし、自己嫌悪に陥ってしまうんです。

子どもが失敗した時は、ひと息ついてから「今度はもう少しゆっくりやってみようか」と、ペースを落としてあげる。そうやって大人がゆとりを持つことで、子どもはのびのびと学んでいくことができるのです。

## 松本静子先生による

### 子どものやる気を削がないために必要な大人の態度

#### 1. 否定的なことばはNG

「まだ片付けてないの！」と怒鳴るのではなく、「もうお食事だから、お片付けしようね」など、気持ちのいい接し方を心掛けて。

#### 2. 子どもの気持ちを想像する

子どもに対しても謙虚な気持ちを忘れずに。自分も小さい頃は出来なかったな、自らの経験を振り返ることもヒントに。

#### 3. 子どもに任せてみる

忙しい時でも子どもとの関わりを面倒に思わず、子どもの「やりたい」気持ちを大切に。まずは子どものできる範囲のことから。

#### 4. 失敗しても怒らない

子どもと一緒に楽しみながらやってみる。失敗しても怒らず「失敗したね」と認め、次につなげる。また、子どもの失敗を繰り返し言及したりしないこと。

#### 5. ペースを落として

失敗してしまったら、子どもの気持ちを落ち着かせてから、ペースを落としてもう一度。ゆっくりお手本を見せてあげることで子どもの理解も深まる。

**是非、心掛けて「思慮深くじっくり待つ親」になりましょう、子どものやる気を育てましょう。**